

川で遊ぶ

夏井川
流域
ネットワーキング

<事業報告>

- ①令和2年度（第21回）総会
- ②第14回夏井川流域一斉水質調査
- ③小学校支援活動
- ④行政へ要望書提出
- ⑤定例清掃活動

<行事案内>

- ①第7回夏井川かわくんだり
- ②第16回福島県水環境活動団体交流会
- ③第2回夏井川ウォーキング

<募集案内>

20年史の記事・資料・写真

<事業報告> ①令和2年度総会

橋本孝一

コロナ禍を超えて 夏井川に寄り添う事業の発展に向けて

昨年12月に最初の感染者が確認された新型コロナウイルスは、世界的規模で猛威を奮い、感染者数は3千万人超、死者95万人超、日本国内では、感染者数約8万人、死者1,500人超（9/21現在）となり、我が国でも未だ余談を許さない状況が続いています。コロナ禍が長期化する中、社会・経済の在り方が大きく変わろうとしています。一方、地球の自然環境も、コロナ禍とは、独立に変化しつつあります。昨年10月の「東日本台風」の襲来は、私たち夏井川流域に住む住民にとって、直に、地球環境の異変に気付かせるものとなりました。

◆当会の年次総会は、コロナ禍の影響を踏まえ、例年とは違った形での開催となりました。議案書は、事務局で原案を提示し、世話人会での確認・了承を戴く形で、確定させていただき（5月24日付）、会員の皆様に議案書等を送付させて戴きました。主な議案としては、①令和元年度の事業報告・決算報告、②令和2年度の事業計画・予算案、③役員改選の3件でした。特に今年度の事業計画では、これまで実施してきた事業を可能な限り実施することとしました。また、役員改選では、基本的に現執行体制を維持していくこと（新しく、桶田隆司さんを副代表世話人に就任させていただきました）となりました。

◆本会報の中でお知らせしておりますが、規模を縮小しての「一斉水質調査」や学校支援（三和小学校、好間第四小学校）、定例の草刈等に取り組んできております。また、今後、川下りやウォーキング等の諸行事にも積極的に取り組んでいく予定です。

また、昨年10月の台風被害等を踏まえ、夏井川流域内の各地域が抱える課題等について、地区懇談会等を企画し、より流域住民が抱える課題に密着した活動ができるようにしていこうと考えております。

◆当会発足20周年を迎え、記念誌等の発行を企画しており、編集作業も遅れがちですが、着実に進めており、今年度内には、発行したいと考えております。会員の皆様の積極的なご参加・ご支援をお待ちしております。

<事業報告> ②夏井川流域一斉水質調査

阿部孝男

夏井川流域の会主催の「夏井川流域一斉水質調査」は今年で14回目を迎えましたが、コロナ渦の中での実施の戸惑いもありましたが、やはり継続することが大事ということで、密を避けるため一般参加の募集は行わず会のスタッフだけで6月14日（日）に実施しました。他、勿来工業高校の吉田先生と同僚の教師と生徒の皆さんも参加して頂きました。

例年は本川支川合わせて27地点の調査を計測してきましたが、調査参加人数の制限もあることから本川7地点、支川5地点の計12地点の調査を行いました。

また、今年も昨年同様川砂（又は泥）の放射性物質の検査は行いましたが、例年実施している水生生物調査は行いませんでした。

採水した水は小川公民館でパックテストなどの検査を行い、記録表に書き込んでいきました。

小川公民館での計測—「COD(パックテスト)」「導電率」「におい」「透視度」

COD、BOD、pH、導電率は福島高専さんの協力を頂き公定法により計測しました。

川砂の放射性物質はパルスシステムさんの協力を頂き計測しました。



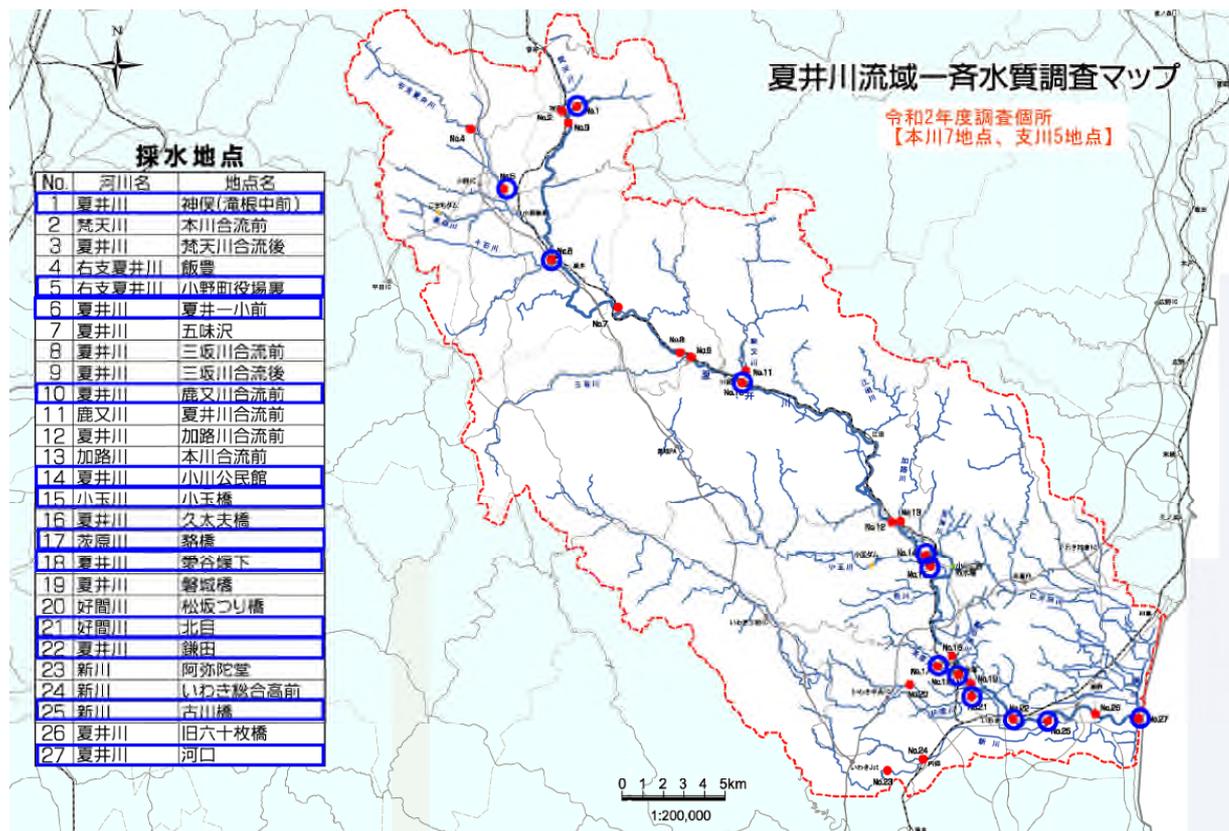
パックテストなどの様子



透視度計測の様子



結果講評の様子



調査結果は、下表に示すとおりですが、傾向としてはやはり例年通り小野町周辺の若干水質悪化～夏井川渓谷での良好な状態～下流域での水質悪化傾向がみられました。

川砂の放射性物質については過年度と比較するとやや減少傾向がみられるようです。

令和2年度 夏井川流域一斉水質調査 結果表

実施日:令和2年6月14日(日)、午前10時 採水 天候:晴れ		実施主体:夏井川流域の会														
NO.	河川名	採水地点	現地計測結果					現地一斉試験結果:小川公民館				室内試験(福島高専での測定結果)				
			水温 ℃	流速 m/秒	CODハットテスト (3回平均値) mg/L	導電率 mS/cm(*)	pH	におい	透視度 cm	フモロ性窒素 NH4-N	pH	導電率 mS/cm(*)	COD mg/L	BOD mg/L	川砂の放射性濃度 (CS134+CS137) ベクレル(Bq/Kg)	
1	夏井川(本川)	神保・滝根中前	16.0	0.38	0.5	10.8	「J」が 中性	弱い	100以上		7.37	163	1.8	0.8	25	
2	梵天川	夏井川合流前														
3	夏井川	梵天川合流後														
4	右支夏井川	飯豊														
5	右支夏井川	小野町役場裏	16.5	0.50	3.7	13.6		中位くらいの泥臭さ	100以上		7.49	213	4.6	0.8	36	
6	夏井川(本川)	夏井一小前	16.5	0.50	2.3	14.8		なし	100以上		7.51	230	4.6	0.8	27	
7	夏井川	五味沢														
8	夏井川	三坂川合流前														
9	夏井川	三坂川合流後														
10	夏井川(本川)	鹿又川合流前	16.5	1.25	1.0	10.7		なし	100以上		7.58	166	3.0	0.4	25	
11	鹿又川	夏井川合流前														
12	夏井川	加路川合流前														
13	加路川	夏井川合流前														
14	夏井川(本川)	小川公民館前	20.0	3.20	1.0	10.8		極めて弱い	56.5		7.60	161	2.8	0.4	28	
15	小玉川	夏井川合流前	20.5	1.32	1.7	11.4		なし	96		7.58	180	2.0	0.8	38	
16	夏井川	久太夫橋														
17	茨原川	貉橋	17.5	0.60	2.3	23.3		土っぽい臭い	100以上		7.51	365	3.0	0.2	47	
18	夏井川(本川)	袋谷堰下	18.5	0.60	3.3	15.4		鉄臭い	85		7.58	239	2.8	0.4	29	
19	夏井川	磐城橋														
20	好間川	松坂つり橋														
21	好間川	北目	18.0	1.00	1.3	20.2		緑くさい	100以上		7.57	309	3.2	0.4	39	
22	夏井川(本川)	鎌田	16.2	0.95	3.0	12.8		土っぽい臭い	66.5		7.66	198	3.8	0.8	28	
23	新川	阿弥陀堂前														
24	新川	いわき総合高校前														
25	新川	古川橋	16.5	0.30	5.3	34.6		泥っぽい・金属臭	85		7.44	542	7.0	0.2	34	
26	夏井川	六十枚橋											4.4			
27	夏井川(本川)	河口	18.2		2.2	54.9		土っぽい・金属臭	74.5		7.48	884	2.8	0.8	17	
(*)導電率の単位: μS/cm(マイクロ・シ・パー・センチメートル) ※COD値はバックテスト3回の平均値											平均値	7.53	317	3.5	0.6	31

水質調査結果については「身近な水環境の全国一斉調査（みずとみどり研究会）」に報告済です。<http://www.japan-mizumap.org/>

※全国の集計は12月ごろになるようです。



参加者のみなさん、スタッフのみなさんお疲れ様でした。

分析にご協力いただきました福島高専さん、パルシステムさん大変お世話になりました。

子供たちの笑顔が見える夏井川、子供たちの歓声が聞こえる夏井川を目指して今後も継続していきたいと思っておりますので来年もよろしくお祈りいたします。

<事業報告> ③小学校支援活動 新型コロナウイルス渦の中で 佐藤雅子

今年度は学校のそばを好間川が流れる三和小学校と好間第4小学校の2校の支援でした。「川の授業」は基本的に水源地視察、身近な川が水生昆虫採取や水質検査できれいな川かどうかを確かめる、そして水源から海までの流域全体をたどる、の3回行います。対象児童の顔触れは毎年変わりますが、私たちは授業内容に工夫や新しい知識を加えて臨んでいます。自然環境の変化もその都度現地で確認しています。しかし、今年はコロナ禍で時間、間隔、動きなどいろいろな制約を余儀なくされ、全員マスク着用はもう当たり前。お天気にも左右されましたが、おそるおそるの活動は、無事実施できました。

■三和小学校

6/11(木) 教室で森林組合の松崎さんが森林の話、橋本先生が流域の話をした後、雨降山に登る。例年は5月中だったので、一ヶ月後の山の風景は違って見えた。地元の加藤さんはいつも事前に草刈りをして道を作ってくれてありがたい。児童11人がマスクをつけているので「マスクを取って山のいい空気を吸って匂いも嗅いでみて!」という、「もう慣れているから大丈夫です」とちょっとだけマスクをずらした。みんなで谷間の落ち葉が重なった土を掘ると、水が湧き出て、この水源から川の流れを作った。

6/17(水) 学校前の好間川で水生昆虫採取、低学年も出てきて水生昆虫に歓喜の声があがる。



雨降山の水源を確認

7/22(水) バスで学校から夏井川河口、太平洋まで移動。「ソーシャルディスタンス！」の声時々おこり、子どもたちにもコロナ予防がだいぶ浸透しているようだ。右岸の河口公園では、伝馬船に乗ったあと、モクズガニ釣り。どの子も時間を忘れて没頭。「これが子どもの本来の姿」

■好間第4小学校

7/7(水) 好間川で水生生物、水質調査。

7/17(金) 水源から夏井川河口まで。3年生から6年生までの19名。まず雨降山に登る。好間川の源流から流れてくる途中の、まだ小さい川から、大谷さんが水生昆虫カワゲラやこの季節にしか見られない珍しいサンショウウオを見つけて説明してくれた。もちろんまた川に返す。子どもたちはバスの中ではマスクをして歌を歌いながら、コロナ禍での久しぶりの外出を楽しんでいた。平橋まで移動、好間川と夏井川の合流点を確認。次に夏井川河口左岸公園から閉鎖している河口と新舞子大橋、向かいの右岸などの景色を眺める。新舞子海岸では波の飛沫を受けながら、ソーシャルディスタンスでお弁当を広げた。船に乗る、カニ釣りはこの支援の定番だが、毎回この子どもたちの生き生きした姿が見られるのは、私たちの喜びである。

9/7(月) 好間川での川遊び。全学年(1年から6年までの29名)が川に入る企画はこの校長先生ならではの、小さい学校だからこそできる特典。教員、保護者のあたたかい見守りの中、上級生5、6年生が小さい子の面倒をみながら、という班編成は、遠い昔、子ども同士遊びながらの上下関係で世の中を覚えていったことを思い出させた。好間川はや流れに変化があり水底が見える透き通った川である。最初は怖がっていた子も、水難救助訓練を取り入れたところから、水に浸っている子が多くなった。この日たくさんの歓声と飛沫が上がり、好間川は水温が上がったかもしれない。お天気加減で繰り延べになったが、コロナ禍で委縮していた心と身体を伸ばすことができただろうか。



雨降山源流での生物学習



河口親水公園で乗船体験



河口砂浜で



好間川で川遊び

<事業報告> ④行政へ要望書提出

桶田隆司

「台風19号からの復旧」と「防災S Tの利活用に向けて」要望

昨年10月の豪雨により夏井川本川及び支川で堤防決壊が生じ、多くの人命が失われる大災害となりました。当会では、夏井川流域の河川環境改善の啓蒙活動や、地域住民及び関係団体との交流促進などを進めていますが、この度の災害復旧対応にあたり「住民主体の川づくり」の観点を踏まえ、令和2年7月30日に福島県いわき建設事務所といわき市へ要望書を提出しました。

いわき建設事務所では、曳地利光所長様に要望書を手交し関係部長さんが出席、いわき市では、小松河川課長様に要望書を手交し、意見交換を行いました。

【要望要旨】（アンダーライン部は重点要望）

1. 現在進めている災害復旧工事及び今後の治水対策
 - ① 住民の意見を広く聞く場を設けてほしい。
2. 今後の洪水治水対策及び防災について、官民一体となった対応が必要
 - ① 恒常的な意見交換・情報共有の場の設置と河川水位やカメラ画像の情報共有の仕組み構築
 - ② 総合的な視点で流域治水の視点が必要
 - ③ 超過洪水対策として遊水地設置の検討
 - ④ 新ハザードマップの活用
 - ⑤ 夏井川河川防災ステーションの有効活用
 - ・ 利用規定の策定
 - ・ 官民が参加する「運営協議会」の設置
 - ・ 冷暖房設備を完備
 - ・ 川との触れ合いの場として整備
 - ・ 防災講座、水環境講座の開催
 - ・ 流域情報の展示



曳地いわき建設事務所長に手交（橋本代表）



いわき建設事務所 意見交換

【県回答】

- ・ 復旧工事はHP等で情報を発信しながらしっかり進める。住民説明会は新型コロナの状況で市と調整する。
- ・ 恒常的な意見交換については今後検討していく。
- ・ 各種発信データの統合は厳しいが市と連携する。
- ・ 破堤しづらい粘り強い堤防工事を進めていく。遊水地も検討していく。
- ・ 防災S Tは台風19号の教訓を生かし、利活用についていわき市と連携していく。

【いわき市回答】

- ・ 県では「夏井川・好間川改良復旧PT」が発足し、県と市で「夏井川好間川連絡調整会議」も行っている。県と協働で事業を進めていく。



小松いわき市河川課長に手交（橋本代表）

- ・2月に説明会（意見交換会）を開催した。今後も県と調整する。
- ・防災S Tについては周辺も含め学習の場としても良い場所ととらえている。県と連携する。

○県、市から、恒常的な意見交換の場の設置や防災S Tの有効活用について、前向きな考えを聞くことが出来ました。当会の理念である「住民主体の川づくり」が実行されるよう大いに期待し、今後も意見交換を継続していきましょう。

<事業報告> ⑤定例清掃活動

田中博文

コロナ禍の影響が懸念されている中、清掃活動は屋外で「密」とはならないため、例年通り清掃活動を実施しています。昨年までは毎月第一土曜日に夏井川河口右岸親水公園（パークゴルフ場の奥）を定例清掃として、さらには新川アリオス裏ひょうたん島、夏井川河川防災ステーションを不定期に実施していましたが、今年からはこの2箇所も定期的（毎月第三土曜日）に実施することとして活動しています。

今年度の清掃活動は、一部行事等で第一・第三からズレたところもありますが以下の通りです。参加者は3～7名ですが、10人くらいいれば早く、隅々まできれいになります。道具は事務局で用意しますので、多くの方の参加をお待ちしています。（作業：午前7時半～9時半くらい）

○4/4（土）	新川アリオス裏ひょうたん島	参加者7名
○5/2（土）	夏井川河口右岸親水公園	参加者7名
○6/6（土）	夏井川河口右岸親水公園	参加者7名
○6/20（土）	新川アリオス裏ひょうたん島	参加者5名
○7/11（土）	夏井川河口右岸親水公園	参加者4名
○7/18（土）	夏井川河川防災ステーション	参加者5名
○8/1（土）	夏井川河口右岸親水公園	参加者5名
○8/15（土）	新川アリオス裏ひょうたん島	参加者3名
○9/12（土）	夏井川河口右岸親水公園	参加者5名

上記7月18日夏井川河川防災ステーションの清掃の際、草刈機で小石が跳ねたらしく、建物のガラスが割れた事故がありました。関係者の皆様には多大なご迷惑をお掛けしまして大変申し訳ありませんでした。これを教訓として人、車、建物に近接しない事など、安全管理に努めて作業したいと思います。

割れた直後 →
(直ちに市へ連絡してブルーシートで応急復旧しました)



<行事案内> ①夏井川かわくだり

今年で第7回になります。

会場でカヌー・ボートの練習をしてから約1.8km川くだりを行ないます。

○日時

10月4日(日)

午前10時～午後2時頃

○場所

いわき市平鎌田地内

東日本国際大の学生駐車場を借用しています

○各自準備

着替え、昼食、飲み物

○会費

無料

○事前予約必要です

30名まで

※今年はホームページ掲載・募集したところ1週間ほどで定員に達しましたので、現在は募集していません。

当日手伝いして下さる方、お待ちしております。

第7回「夏井川かわくだり」
開催のお知らせ

令和2年10月4日(日曜日) 小雨決行
河川増水の場合は中止します

■集合時間・場所：午前10時 いわき市平鎌田・夏井川親水公園
駐車場は東日本国際大のご厚意により
学生駐車場を借用します →

■当日のプログラム

- ①カヌー教室
- ②カヌー・ゴムボートによる川くだり※
- ③川あそび(流れ体験・笹舟競争・きき水・石重さ当てクイズなど)
- ④ゴミ拾い

※川くだりは約1.8kmくだります
※アクアボールは「密」になるので、行いません
終了は午後2時頃を予定しています

[各自準備するもの]

- ◆ 昼食・飲み物
- ◆ 着替え(水にぬれても良い服装・靴、帽子など)
- ◆ 参加費は無料です

★小学生以下のお子さんは必ず保護者同伴で申込み下さい
(先着30名までとさせていただきます)

参加申込/問合せ
下記電話番号またはFAX、メールで9月25日(金)までお申し込み下さい
橋本孝一 TEL・FAX) 0246-22-2621 E-mail) khashi0823@hotmail.co.jp
田中博文 TEL) 090-2797-7856 E-mail) tanaka@tisitu.co.jp

●主 催 夏井川流域の会、夏井川流域住民による川づくり連絡会
●後 援 福島県(予定)、いわき市(予定)

<行事案内> ②福島県水環境活動団体交流会

平成15年10月に、福島県内で水環境に関する活動を実施している団体や個人、河川愛護団体が緩やかに連携するネットワークが結成されました。交流会の参加者からは、「日頃考えていることや悩んでいることを意見交換したり、様々なテーマでの講演を聴くような活動にしたい」との意見があり、平成16年度より毎年度県内各地で交流会を開催してきました。

平成23年3月11日の東日本震災による原子力発電所の事故に伴う放射能の問題で活動に大きな支障が出る状況となりましたが、会員から、「このような時だからこそ、県内の水環境を学び

ながら、さまざまな問題を話し合いたい。」との意見が出され、平成24年度より再開しました。

今年度は西郷村で開催されることになりましたので、是非、多くの方のご参加をお願いします。

- 日時 10月24日(土) 13:30～
- 場所 スパホテルあぶくま(西郷村:福島県西白河郡西郷村大字真船川谷1)
- 次第 13:30 開会式
- 13:40 川の授業 「ウチダザリガニと水環境(仮)」
講師 福島大学教授 塘忠顕氏
- 15:10 川の授業 「白河における戊辰戦争」
講師 白河市立中山義秀記念文学館館長 植村美洋氏
- 16:40 意見交換会
- 17:00 閉会 ※パネル・資料展示は、終日ロビーで実施
- 18:00 懇親会

※今年の2日目現地見学会はコロナ渦を鑑み中止となりました。

- 会費 交流会参加費 無料
 - 懇親会参加費(スパホテルあぶくま) 5,000円(予定)
 - 宿泊(スパホテルあぶくま)も希望される方は 14,000円(予定)
 - 申込み 交流会事務局 長谷川 潔 090-1499-0727 FAX 024(934)7011
E-mail=hasekawa45@fb3.so-net.ne.jp
- または当会世話人・事務局へ連絡下さい。

※申込み期日:10/10(土)

注)全国河川愛護団体交流会

毎年11月頃に実施している全国河川愛護団体交流会は、今年で20回目、会場は新潟で開催を予定しておりましたが、コロナ渦の影響を鑑み中止となりました。

<行事案内>③夏井川ウォーキング

夏井川河口から水源を目指して、夏井川に沿ってウォーキングを楽しみながら、夏井川の魅力や地域との繋がりを発見しようと、昨年度からウォーキング事業を始めました。第1回目(2019年9月29日、福島県主催、当会共催)は、50名の参加の下、河口～鎌田河川公園までの7.2kmのウォーキングを楽しみました。

第2回目となる今年のウォーキングは、昨年度からのバトンタッチで、鎌田河川公園からJR赤井駅までの約6kmで実施します。今回のコースでは、昨年の台風19号の被災現場と重なるため、「夏井川の治水のあり方を考える」をサブテーマに実施したいと思います。実施要領は、下記のとおりです。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

- 日時 11月8日(日) 9:00～
- 場所 いわき市平鎌田親水公園(夏井川左岸)
- 行程 下記
- 会費 無料
- 申込み 当会世話人・事務局へ連絡下さい。 ※申込み期日:10/30(金)

夏井川沿いウォーキング (第2弾)

～夏井川下流部の被災地を見ながら防災を考える～

- コース:「鎌田河川公園～夏井川本川沿い
～「JR赤井駅」までのウォーキング」

(約6.2km)



- 実施予定日:2020年11月8日(日)

●実施要領

- 9:00 鎌田公園集合 ○開会式(趣旨説明、注意事項等)
- 9:15 出発 夏井川左岸沿いにウォーク
- 9:20～9:40 ①の鮫岡の決壊箇所などの視察
 - ↓徒歩15分(平橋を横断し、夏井川防災STへ)
- 9:55～10:30 ②の夏井川防災ST～施設説明、利活用について
 - ↓徒歩30分(河道内の樹木伐採の状況を見ながら下平窪へ)
- 11:00～11:20 ③下平窪西左衛門決壊現場へ⇒復旧工事、堰橋の水位観測装置等の視察
- 11:40～12:00 ④下平窪大念仏決壊現場
- 12:10～12:30 ⑤下平窪中島町の決壊現場
- 12:40～13:40 昼食(平窪公民館)～意見交換
- 13:50～14:10 ⑥中平窪真似井川の復旧工事視察
- 14:30 JR赤井駅到着 解散 (JR14:46発)

- 主催:夏井川流域の会
- 共催:いわき地域環境科学会
- 後援:福島県、いわき市(予定)
- <連絡先>
- 夏井川流域の会事務局
 - 〒972-8311 いわき市常磐水野谷町
 - 亀ノ尾171 地質基礎内 田中博文
 - TEL.090-2797-7856



<募集案内> 20年史の記事 資料 写真

当会は平成12年9月発足し、今年で20周年目となります。その節目を記念し20年史を発行する予定で動き出しております。

夏井川に係わる風俗や歴史の変遷、古い写真、皆さんの思い・意見など何でも構いませんので、当会世話人に是非お知らせ下さい。

－ 20年史 目次（案） －
はじめに
1. 夏井川流域の概要
2. 夏井川流域 NW の活動
3. 流域の会の発足と活動
4. 活動の思い出
5. 今後の発展に向けて
資料編

- 募集期限 令和2年12月末
- 発行予定 令和3年3月
- 投稿要領
 - ①記事は「写真等込みで、A4サイズで半頁～2頁以内を目安」に御寄稿下さい。長くなる場合は、事務局にご相談ください。
 - ②原稿の書式は、紙媒体の場合：事務局へ郵送、電子媒体の場合：事務局宛へメールでお送りください。
 - ③投稿の際には、氏名、連絡先をお知らせ下さい。事務局の所在等は巻末を参照ください。

<事務局より>

■資材置き場等に係わる情報提供のお願い

当会の活動に係わる資材として水質検査用ポリタンク数十個、ゴムボート3艇、ボート船外機1個、アクアボール3個、水生生物採捕用網数十個、大型展示パネル数枚、その他備品など結構かさばる物が多く、橋本代表、事務局、他会員それぞれ個人で保管しています。

そこで、どこかに集約した資材置き場がほしいと考えています。理想としては、併せて会の拠点となる場として、「夏井川資料館」となるような場所も確保したいです。

つきましては、できれば夏井川からさほど遠くない場所に、空き倉庫、空き地、空き家など利用可能な情報があれば、事務局または世話人へ是非お知らせ下さい。

■世話人会に参加してみませんか

当会は毎月第一火曜日に「世話人会（18：30～）」を開催し、事業の反省や今後の在り方など、いろいろな話し合いを行っています。会議時間は1時間程度で、誰でも参加できますので、是非ご参加ください。会場は主にいわき市文化センターですが、変更となる場合がありますので、世話人または事務局へご確認下さい。

～～～ 会員の皆様からのご意見・御寄稿をお待ちしております ～～～
(行事予定は下記[ホームページ](#)でも案内しています)

【会報 第52号】 2020.9.29

発行 : 夏井川流域住民による川づくり連絡会 (略称:夏井川流域NW)
代表世話人 : 橋本孝一
事務局 : 〒972-8311 いわき市常磐水野谷町亀ノ尾171地質内
田中博文 Tel)0246-88-8810 Fax)0246-88-8907
ホームページ : <http://blog.natsuigawa-karyu.net/> 夏井川流域で検索